

「彼は望みえないときに望みを抱いて信じました。それは、『あなたの子孫はこのようになる』といわれていたとおりに、彼があらゆる国の人々の父となるためでした。」ローマ書 4:18 神の働き全ては信仰から発します。神様は全能のお方ですから何でもすることがお出来になります。しかし人を神の愛の対象としてお造りになられた神は、人の神への愛、信頼、信仰心と共に働きをなさる愛のお方です。初めに TLEA に集められた方々は大きな教会の中では問題にされないようなワースト 5 とされる人ばかりだったそうです。当時海外宣教は神のみ言葉であるにもかかわらず、多くの教会が実行していませんでした。海外宣教の話をする時「教会が大きくなったら行きましょう」というような風潮がありました。TLEA の人々は海宣の最低条件(パスポート、英語等々)も満たしていませんでしたが、神のお言葉だからとただ単純に信じていたそうです。可能性を見ていたのではありません。ただ信じるだけでした。この信仰から始まり今や全世界を通して宣教の働きが拡大しています。アブラハムも、望みえない時に望みを抱いたのです。子供が一人もいるわけではなく、アブラハムの体がおよそ 100 才になって死んだも同然であり、サラの胎も死んだも同然であったにもかかわらずです。12 節「神には約束されたことを成就する力があることを堅く信じました。」それが彼の義とみなされた信仰であり、それは私達にも通じるものです。「私達の主イエスを死者の中からよみがえらされた方を信じる私たちも、その信仰を義とみなされるのです。主イエスは、私達の罪の為に死に渡され、私たちが義と認められるためによみがえられたからです。」4:24、25 以下白馬キャンプでパウロ秋元牧師が語られた言葉です。「最近、私が地方に行くと、私の体力的な問題で、いろいろと周りの方が助けてくださろうとする。しかし、その中で、主から「あなたは、できないなどと言ってはいけない」と語られた。周囲も助けてくださるし、楽だと感じるのだが、これから海外宣教など～アフリカを含め、いろいろな国に行く～これからが集大成であり「最後の決戦」が始まろうとしている。その中でポイントになるのは、「感謝」である。もう 1 つ、「永遠」ということを感じる。ジャッキー・ハミルさん、ジュリエッタ姉らがフィリピンで殉教した出来事や、日本二十六聖人のこと等は、いのちをかけて福音のために死んでも天国があるという事と共に、主は永遠の生活があることを語っておられると感じる。死んで終わりではなく永遠の流れの中で～天における永遠の生活に至ることを主は語っておられる。私達はこの世に留まる者ではなく、死んで神のみもとに行き～永遠の者であると知る事は、実に重要なことだ。」こう語っておられるパウロ秋元牧師がここに来られて聖会を開いてくださいます。主に期待して祈りましょう。

TLEA FRH Church [The Light of Eternal Agape]

FRH (天に登録されている長子たちの教会)

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven



Siloam (シロアム：遣わされた者 ヨハネ 9：7)

2020 年 8 月 23 日 No.1117

< II 歴代誌 20：15、17 >

この戦いはあなたがたの戦いではなく、神の戦いであるから。

この戦いではあなたがたが戦うのではない。

しっかり立って動かずにいよ。

あなたがたとともにいる主の救いを見よ。

♪ God is working for my good , now , for my good ,

for my good , God is working for my good , Yes , You really are! ♪

<http://astone-blog.jp/tleafrh/>